

I 平成 29 年度事業報告

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

1 学術研究助成事業

- (1) 平成 29 年度においては、引き続き、国民食生活の向上と外食産業の発展に寄与することを目的として、食に関する基礎的な科学研究を行う研究者及び研究グループに対し研究助成金を支給しました。

まず、「平成 29 年度学術研究助成募集要領」により、助成研究課題を募集いたしました。

募集方法としては、当財団のホームページに掲載し公募したほか、公益社団法人日本農芸化学会、公益社団法人日本食品科学工学会、一般社団法人日本調理科学会の協力を得て、学会誌、ホームページ等を通じて公募いたしました。

- (2) 平成 29 年度の学術研究助成応募申請書は平成 29 年 6 月 10 日をもって受付を締め切りました。その結果は、下記のとおり 128 件(前年度 120 件)の応募があり、また学術研究助成金の申請総額は 24,334 万円に達しました。

平成 29 年度学術研究助成金応募件数一覧

研究機関名	応募件数	助成申請額
	件	万円
国公立大学・院	80	15,463
私立大学	33	6,011
短大	3	564
研究機関等	12	2,296
合計	128	24,334

- (3) 受理した 128 件の応募申請書について、専門委員による選考委員会に付託し、平成 29 年 8 月 1 日の審査会の選考の結果、12 件(助成額 2,226 万円)が選定されました。それを踏まえて、8 月 8 日理事長が助成対象課題を決定し、該当助成対象機関の長あて決定通知をいたしました。

また、助成金(目録)について、9 月 8 日に贈呈式を行い、助成対象者

から研究概要の説明があり、それを基に相互の情報交換を行いました。

2 助成学術研究成果の発表(普及)

(1) 学術助成研究成果発表会の開催

平成 28 年度の学術助成研究の成果については、「第 29 回学術助成金による研究成果発表会」を平成 29 年 11 月 24 日に開催し、それぞれのテーマについて、研究代表者から発表いたしました。

当日は、大学等研究機関、企業・団体等から多数の参加があり、活発な質疑・意見交換が展開されました。

(2) 研究成果の配布

また上記の研究成果については、「食に関する助成研究調査報告書第 30 号」として刊行し、国立国会図書館をはじめ、大学図書館、研究機関、企業、団体等に広く配布しました。

平成 29 年度主要業務日誌

年 月 日	主 要 業 務 項 目
平成 29 年 4 月 1 日	平成 29 年度学術研究助成募集の開始（ホームページ）
4 月 14 日	役員変更届（佐藤憲雄監事新任）を内閣府に提出
5 月 9 日	平成 29 年度事業報告、収支決算等についての監事監査
5 月 19 日	平成 29 年度第 1 回理事会の開催（事業報告、決算報告の承認等）
6 月 9 日	平成 29 年度定時評議員会の開催（事業報告、決算報告の承認）
6 月 10 日	平成 29 年度学術研究助成の募集締め切り（128 件の申請あり）
6 月 22 日	平成 29 年度事業報告、決算報告について内閣府へ提出
8 月 1 日	平成 29 年度学術研究助成対象者審査会（専門委員会）開催 （申請件数 128 件から 12 件を選考、8 月 8 日決定通知）
9 月 8 日	平成 29 年度学術研究助成金（目録）の贈呈式
10 月下旬	「食に関する研究調査報告書No.30（平成 28 年度研究成果報告書）」刊 行、配布
11 月 24 日	第 29 回学術助成金による研究成果発表会（KKR ホテル東京） （平成 28 年度助成対象課題 13 件）
平成 30 年 3 月 9 日	平成 29 年度第 2 回理事会開催（平成 30 年度事業計画、収支予算の承 認に関する件、代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告等） 平成 29 年度臨時評議員会の開催（平成 30 年度事業計画、収支予算の 承認に関する件）
3 月 20 日	役員変更届（下村道子評議員退任）を内閣府へ提出
3 月 23 日	平成 30 年度事業計画書、収支予算書を内閣府へ提出

Ⅱ 事業報告書の附属明細書

公益財団法人すかいらーくフードサイエンス研究所

The SKYLARK Food Science Institute

平成 29 年度学術研究助成募集要領

1 学術助成の趣旨

この助成は、食に関する科学研究を行う研究者及び研究グループに対し、研究助成金を支給し、国民の食生活の向上と外食産業の発展に寄与することを目的とします。

2 学術研究助成の対象

次の 3 に指定する分野の食に関する研究を行う研究者及び研究グループを対象とします(但し、食文化は対象外)。

3 研究分野

- (1) 食の嗜好に関する研究
- (2) 食事構成に関する研究
- (3) 食に関する基礎的な科学研究
- (4) 食品の放射能汚染とその健康への影響に関する研究

4 学術研究助成要件

- (1) 原則として申請研究課題に関する研究実績が 1 年以上あること (但し上記 3 の (4) は除く)。
- (2) 原則として所属研究機関長の推薦が得られること。
- (3) 研究機関の推薦件数は、2 件までとすること (但し、助成は 1 研究機関 1 件を原則とする)。

5 学術研究助成の金額、件数

学術研究助成金額は、総額 2, 100 万円とし、1 件 150～200 万円程度として、12～13 件の研究課題に助成を行います。

6 助成期間

助成期間は、原則として1ケ年とします。ただし、内容によっては継続して助成します。

7 申請書の記入及び送付

当財団ホームページ (<http://www.skylark-fs.or.jp>) に掲載してある所定の申請書類の様式(A4 サイズ限定)に必要な事項を入力し、プリントアウトして、申請者本人及び所属機関長の印を押印し、下記の当財団あてに郵送して下さい。

公益財団法人すかいらーくフードサイエンス研究所

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-4-11

Daiwa 神宮前ビル 1階

(参考：TEL03-5770-2255)

8 申請書の申請締切日

申請締切日は、平成 29 年 6 月 10 日（当日消印有効）とします。

9 選考方法

事前審査後、当財団の専門委員会の審議を経て理事長が決定します。

10 決定通知

採否の結果については、平成 29 年 8 月上旬に通知します。

11 助成金の交付予定

平成 29 年 9 月末日までに交付する予定です。

12 報告等

研究に要した助成金の使途については、その収支報告書を平成 30 年 4 月 15 日までに報告していただきます。

また、研究の成果については、その報告書を平成 30 年 7 月末日までに提出頂くとともに、同年 11 月頃に研究成果発表会を開催いたします。

なお、研究報告書は、全国の大学図書館、関係研究機関等に配布します。

平成 29 年度専門委員名簿

- | | | |
|-----|-----|---|
| 今 井 | 悦 子 | 聖徳大学人間栄養学科教授 |
| 米 谷 | 俊 | 近畿大学農学部食品栄養学科教授 |
| 新 本 | 洋 士 | 玉川大学農学部生命化学科教授 |
| 高 橋 | 智 子 | 神奈川工科大学応用バイオ科学部教授 |
| 田 中 | 茂 穂 | 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養
研究所 国立健康・栄養研究所 基礎栄養
研究部部長 |
| 和 地 | 正 明 | 東京工業大学大学院生命理工学研究科教授 |

平成29年度学術研究助成対象課題

No.	研究課題	所属機関名	申請者氏名	申請金額	備考
1	食事脂質由来長鎖脂肪酸の腸脳相関を介したエネルギー代謝制御機構の解明	東京農工大学大学院 農学府・農学部 特任助教	ミヤモト ジュンキ 宮本 潤基	2,000 千円	個人
2	日本食摂取の脂質代謝および慢性炎症改善効果検証のための無作為化比較介入研究	日本女子大学大学院 家政学研究科 教授	マルヤマ チズコ 丸山 千寿子	2,000 千円	共同
3	ビッグデータ解析による世界の「食」に関わる資源依存構造のメカニズム解明	立命館大学 理工学部機械工学科 准教授	ヤマサエ エイジ 山末 英嗣	2,000 千円	共同
4	ナノハイブリッド標識を用いた食中毒原因菌の迅速検出	大阪府立大学 工学研究科 准教授	シイギ ヒロシ 椎木 弘	2,000 千円	個人
5	クロス・モーダルな観点からの食感性プロセスの解明と創出	筑波大学 大学院 システム情報工学研究科 准教授	ノブハラ ハジメ 延原 肇	2,000 千円	共同
6	ツノナシオキアミ肉を原料とした水産練り製品の開発	東京海洋大学 学術研究院 食品生産科学部門 教授	オオサコ カズフミ 大迫 一史	2,000 千円	共同
7	乳酸菌オリゴDNAと生薬分子によるロコモティブ症候群予防の基盤研究	信州大学 農学部 助教	タカヤ トモヒデ 高谷 智英	2,000 千円	共同
8	発達期タンパク質栄養不足による成熟期脳内甲状腺ホルモンシグナル異常と脳機能変化	九州大学 大学院 農学研究院 教授	フルヤ シゲキ 古屋 茂樹	1,950 千円	個人
9	食物アレルギーの治療マーカーの探索	東京大学 大学院 農学生命科学研究科 准教授	ムラタ タカヒサ 村田 幸久	1,600 千円	共同
10	乳児用液体ミルクが母親の育児負担感に及ぼす効果	筑波大学 医学医療系 准教授	ミズノ トモミ 水野 智美	1,218 千円	共同
11	腸内フローラ改善のためのPedococcus pentosaceusのLPS (Lipopolysaccharide)分野に関する網羅的研究 ～P.pentosaceus由来LPS分解タンパク質の作用機作について～	宮城大学 大学院 食産業学研究科 教授	カナウチ マコト 金内 誠	2,000 千円	個人
12	クロマグロを科学する 一食と資源の持続可能性を探る	日本経済新聞社 日経グローバル編集グループ 主任研究員	カシハラ ヒロシ 樫原 弘志	1,500 千円	個人

公益財団法人すかいらーくフードサイエンス研究所
第29回学術研究助成金による研究成果発表会次第

平成29年11月24日

KKRホテル東京

開 会 10:00

あいさつ

研究発表

No.	研究課題名	所属機関名	発表者	
1	食物摂取によるIgE非依存性アナフィラキシーの病態解明	順天堂大学 大学院 医学研究科アトピー疾患研究センター 先任准教授	キタウラ ジロウ 北浦 次郎	10:15 ~ 10:35
2	炭水化物制限食に伴う心血管イベント増加メカニズムの解明 ~心臓に優しい食事の開発を目指して~	東京大学 大学院 医学系研究科 教授	コムロ イッセイ 小室 一成	10:35 ~ 10:55
3	近赤外分光法による調理食品の熱量及び主要栄養素の評価	医薬基盤・健康・栄養研究所 栄養教育研究部 栄養ケア・マネジメント研究室 室長	タカタ カズコ 高田 和子	10:55 ~ 10:55
4	抗酸化能を有するアミノ酸高含有作物の創製	筑波大学 国際産学連携本部 准教授	オオツ イワオ 大津 厳正	11:15 ~ 11:35
5	食餌中の ω -3脂肪酸がケルセチンの生活習慣病予防及び認知機能改善効果に及ぼす影響の総合的解析	農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 ユニット長	コボリ マスコ 小堀 真珠子	11:35 ~ 11:55

昼飯・休憩 11:55~13:10

6	擬似咀嚼音を用いた介護食の食感改善:音と食品との一致度が効果に及ぼす影響の検討	産業技術総合研究所 人間情報研究部門 主任研究員	エンドウ ヒロシ 遠藤 博史	13:10 ~ 13:30
7	魚の美味しさ特性の見える化による魚食普及促進に関する研究	東海大学 海洋学部 水産学科食品科学 教授	ゴトウ ケイイチ 後藤 慶一	13:30 ~ 13:50
8	腸内環境の改善に着目した栄養教育によるメンタルヘルス及び肥満の改善効果の検証	名古屋大学大学院医学系研究科 国際保健医療学・公衆衛生学 助教	ウエムラ マユ 上村 真由	13:50 ~ 14:10
9	白色脂肪組織中において「誘導型」褐色脂肪細胞への分化転換を促進する食品由来因子に関する研究	中部大学 応用生物学部 教授	ツダ タカノリ 津田 孝範	14:10 ~ 14:30
10	女性のライフステージ別にみた口腔細菌叢の変化と食生活の関連を探る疫学的研究	大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科 教授	カミタニ シゲキ 神谷 重樹	14:30 ~ 14:50

休憩・コーヒーブレイク 14:50~15:05

11	ビッグデータ解析による日本の「食」に係る資源端依存構造の可視化	立命館大学 理工学部 機械工学科 准教授	ヤマスエ エイジ 山末 英嗣	15:05 ~ 15:25
12	低線量放射線を模した染色体切断系を用いた腸内細菌群の遺伝および細菌集団の動的平衡解析	東海大学 生物学部 生物学科 准教授	カイドウ アキヒロ 海藤 晃弘	15:25 ~ 15:45
13	大豆イソフラボン摂取によるインクレチン分泌改善作用を用いた、肥満に伴うアルツハイマー型認知症進展予防の検討	大分大学 医学部 内分泌代謝・膠原病・肝臓内科 講師	ゴトウ コウロウ 後藤 孔郎	15:45 ~ 16:05

全体質疑 15分程度

閉 会 16:20